

■通常事業評価シート【R5年度実施事業／建設部高架事業・道路整備課による自己評価】

(単位：千円)

No.	事業名	総合計画での位置付け (個別目標)	事業の目的 (誰をどのようにするか)	事業の手段 (今年度の主な活動結果)	事業の目的達成に 近づいたか	今後の 方向性	事業費 (決算見込額)	人件費 (参考値)	コスト 合計	事業の課題	今後の改善ポイント	備考
1	交通安全施設整備事業 (他課への一部予算 分任事務)	事故や犯罪などに巻き込まれない生活が送れている	安全かつ円滑に移動できる交通環境を整えるため、交通安全施設を整備する。	歩道の設置及び改良 道路反射鏡等の交通安全施設の設置	5：達成した	継続	35,787	6,914	42,701	特交金を適正に活用し、早期の交通安全施設整備を目指す。	通学路要望や通学路交通安全プログラムにおいて、適正かつ積極的な対応を行っていく。	
2	交通安全施設維持事業	事故や犯罪などに巻き込まれない生活が送れている	安全かつ円滑に移動できる交通環境を整えるため、交通安全施設を適切に維持管理する。	道路附属物（道路反射鏡等）の点検及び修繕	3：おおむね近づいた	継続	52,578	8,165	60,743	道路附属物の経年劣化に伴う破損による事故を未然に防止する。	道路附属物の点検を計画的に実施し 予防保全的修繕を行っていく。	
3	交通安全対策事業	事故や犯罪などに巻き込まれない生活が送れている	交通安全を確保するため、関係機関と連携しながら安全対策を講じる。	交通安全施設設置要望の調査	3：おおむね近づいた	継続	-	7,278	7,278	市民や関係者への交通安全への理解が求められる。	引き続き、市民や関係者への適正な説明を行っていく。	
4	道路橋りょう災害復旧事業	災害などの非常時への準備が進められ、強靱な環境になっている	道路施設の早期回復を図り、2次災害の防止を図るため、道路の災害復旧工事を行う。	災害による被災がなく、活動無し	5：達成した	継続	-	-	-	災害に迅速に対応するため、職員のスキルアップが必要。	災害対応に関する研修へ積極的に参加する。	
5	市街地形成事業（他課からの一部予算分任事業）	にぎわいや活力を支える基盤が整っている	計画的な土地利用を図るため、地域特性に応じた最適なまちづくり手法等の調査研究を行うとともにまちづくり事業を推進・促進する。	道路築造他工事 2件	5：達成した	継続	-	10,157	10,157	引き続き、早期の事業完了を目指す。	関連工事との適切な調整、沿線地権者等への丁寧な説明を行う。	
6	J R阪和線東岸和田駅付近高架化事業	にぎわいや活力を支える基盤が整っている	交通混雑を解消し、交通の利便性・安全性の向上、市街地の一体化を図るため、J R阪和線東岸和田駅付近の鉄道の高架化を推進する。	用地測量 1件	5：達成した	廃止	8,873	4,709	13,582	-	-	
7	田治米畑町線整備事業	にぎわいや活力を支える基盤が整っている	幹線道路の渋滞を緩和し、円滑な交通網を確保するため、（郡）田治米畑町線の整備を推進する。	物件調査（再算定含む） 4件 用地買収 2件 物件補償 2件	1：少し近づいた	継続	108,287	24,525	132,812	引き続き、早期の事業完了を目指す。	沿線地権者等への丁寧な説明を行う。	
8	街路事業用地管理事業（他課からの一部予算再配当事務）	にぎわいや活力を支える基盤が整っている	市内幹線道路部の整備を進めるため、取得済街路事業用地の管理・活用を行う。	街路事業用地における除草等	5：達成した	継続	2,023	-	2,023	街路事業用地の管理を怠ると雑草の繁茂等により近隣住民より苦情が入るため適切な管理が必要となる。	定期的に用地内の除草を実施し、場合によっては防草シート等を設置し雑草の繁茂を防止する。	
9	道路維持事業	にぎわいや活力を支える基盤が整っている	市民の安全な通行を確保するため、道路の維持、補修及び改善を迅速に行う。	道路パトロール 道路施設の維持、補修 生活道路の舗装修繕工事	3：おおむね近づいた	継続	231,930	27,824	259,754	適正な舗装修繕計画の実施。	地方債等を有効に活用し、計画を推進していく。	
10	道路新設改良事業	にぎわいや活力を支える基盤が整っている	安全かつ円滑に移動できる交通環境を整えるため、市道の新設および改良事業、並びに緊急交通路や幹線道路等の計画的な舗装更新を行う。	道路の新設及び改良工事 道路の舗装工事	3：おおむね近づいた	継続	102,796	11,645	114,441	適正な舗装修繕計画の実施。	引き続き、国府への積極的な補助金等要望を行っていく。	
11	橋りょう維持事業	にぎわいや活力を支える基盤が整っている	市民の安全な通行を確保するため、橋りょうの維持、補修を行う。	橋りょうの計画的な維持保全 老朽化した橋りょうの維持保全	3：おおむね近づいた	継続	70,034	9,825	79,859	適正な橋梁長寿命化修繕計画の実施。	引き続き、国府への積極的な補助金等要望を行っていく。	
12	橋りょう新設改良事業	にぎわいや活力を支える基盤が整っている	安全かつ円滑に移動できる交通環境を整えるため、橋りょうの新設、架け換えを行う。	牛滝川河川改修に伴う牛神橋の架け替え	5：達成した	休止	-	728	728	-	-	

■通常事業評価シート【R5年度実施事業／建設部高架事業・道路整備課による自己評価】

(単位：千円)

No.	事業名	総合計画での位置付け (個別目標)	事業の目的 (誰をどのようにするか)	事業の手段 (今年度の主な活動結果)	事業の目的達成に 近づいたか	今後の 方向性	事業費 (決算見込額)	人件費 (参考値)	コスト 合計	事業の課題	今後の改善ポイント	備考
13	細街路整備事業（他課からの一部予算分任事業）	にぎわいや活力を支える基盤が整っている	生活道路の利便性の向上を図るため、細街路を幅員4m以上の道路として整備する。	街路修繕作業 4件	5：達成した	継続	4,571	2,479	7,050	住宅の建築工事とのスケジュール調整をする必要がある場合が多く迅速かつ丁寧な対応が必要となる。	関係各課において綿密な調整を行っていく。	
14	高架事業・道路整備課管理事務事業	持続可能で信頼される行政になっている	課内・部内の円滑な運営を遂行するため、庶務全般を効率的に行う。	道路整備課の庶務事務を適切に実施した	5：達成した	継続	-	13,124	13,124	特になし	特になし	
15	市営住宅財産管理事業（他課からの一部予算分任事業）	持続可能で信頼される行政になっている	公有財産の有効活用を図るため、木造住宅入居者の鉄筋住宅への住替え入居を促進し、空家となった木造住宅の除却及び跡地の整備を行う。	測量設計業務委託 1件	5：達成した	継続	5,148	-	5,148	R6年度の事業完了を目指す。	沿線地権者等への丁寧な説明を行う。また、関係課と綿密な協議調整を行っていく。	
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												